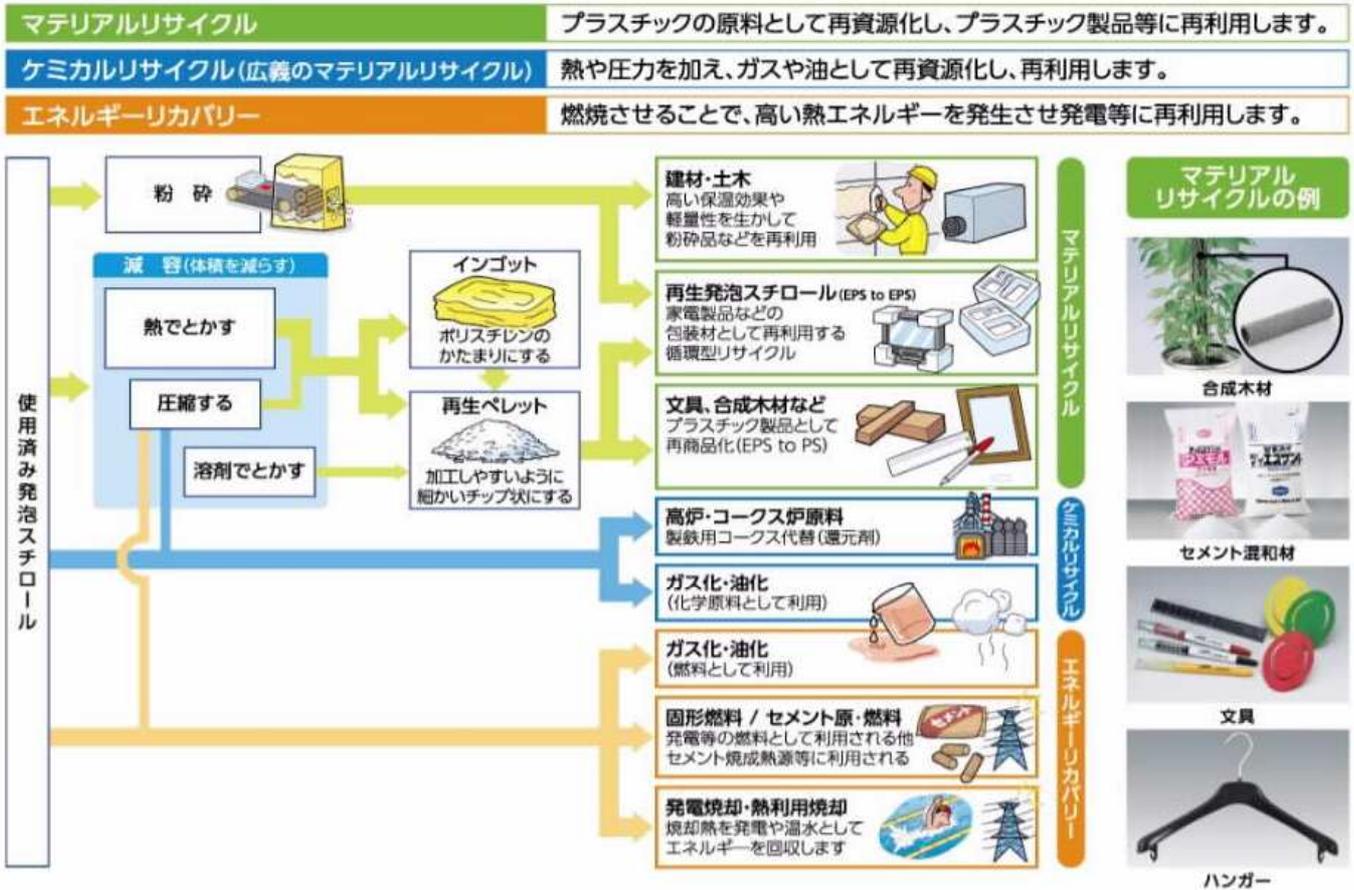


### 3つのリサイクル

出典: 発泡スチロール協会ホームページ

発泡スチロールはほとんどが単一素材であるため分別が容易で、熱や溶剤・圧縮により体積を減らす減容が可能であり、リサイクル特性に優れ、現在3つの手法でリサイクルが行われています。



マテリアルリサイクルでは、発泡スチロールをプラスチックの原料として再資源化し、プラスチック製品などに再利用します。

